

# P2 メタデータ追加方法

(Media Compose 8.3.3 以降にて Panasonic P2Plugin 4.8.3 以降を使用すること)

P2クリップの書き出しを行う際、P2のメタデータを含んで書き出すことができます。またMediaComposer上でつけたMakerもメタデータとして書き出すことができます。このメタデータは、P2製品かP2対応商品にて確認することが可能です。何もお持ちでない場合でも、当社の無料ビューワーにて確認することができます。( P2 viewer + Windows/Mac ) .

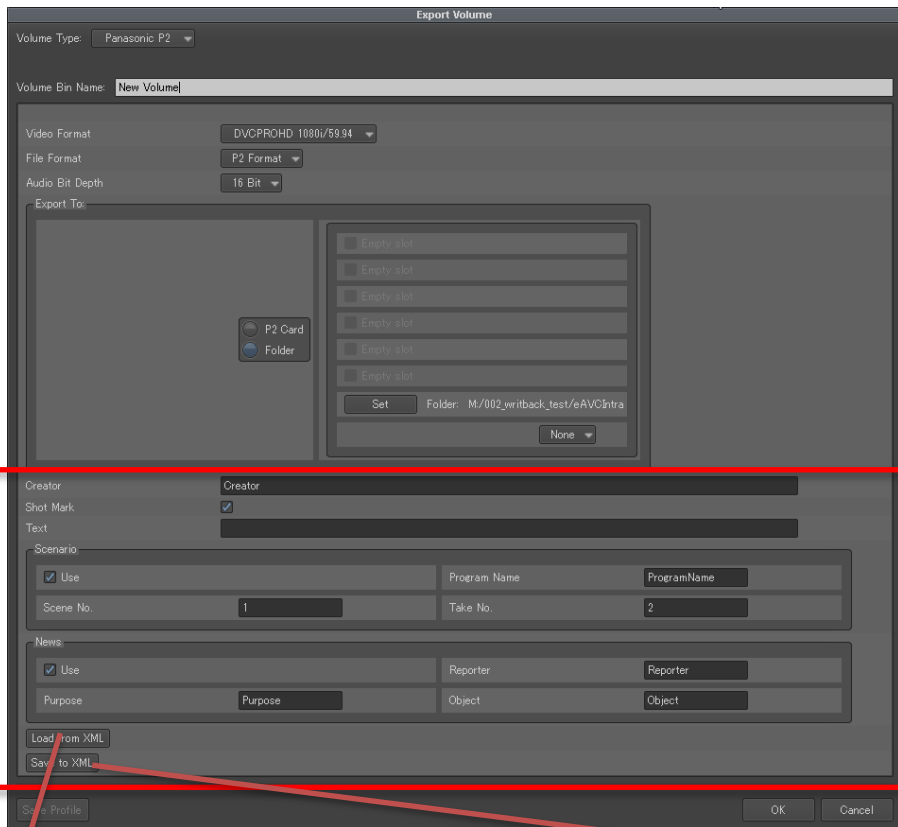
この機能を使うことにより、より多くのクリップ情報 (creator, Program name, reporter, Scene No等) をクリップ自体に持つことが可能になり、運用時はもとより再利用時の検索等にも有用です。また、Makerの書き出しにより、どこへ音を入れるか、テロップを入れるかなどの情報を、クリップ自体に持たすことができるようになります。

## どのようにメタデータを追加するのか?

1. Export volumeの**デフォルトの値**としてExport Volume Settingで設定可能です。  
この値は、Export VolumeへシーケンスをDrag&Dropしたときに反映されます。  
変更しなければこの値が書き出しクリップに反映されます。  
(詳細は ページ2 “Export Volume Setting設定方法“ をご確認ください)
2. Export Volume内で直接追加/変更することも可能です。  
これにより同じExport Volume内でも**シーケンスごとに違うメタデータ**を書き込むことが可能です。  
(詳細はページ3 “Export Volume内での変更方法” をご確認ください)
3. Media Composer上でシーケンスにうったMakerをそのままメタデータとして書き出すことが可能です。  
書き出したクリップをP2機器もしくは、TextMemo対応されている商品にて取り込むことで、MediaComposerでうたれたMakerを確認することができます。  
また、P2 機器でつけられたTextMemoも同様に書き出すことが可能です。  
(詳細はページP4 “Media Composer上のMarker書き出し方法”をご確認ください)

# Export Volume Setting 設定方法

File → New → New Export Volume



## P2 メタデータ

この値がExport volumeのデフォルト値となります。

**Creator** : alphanumeric, max 30 char

**Short mark** : true or false

**Text** : クリップのテキストメモとして1つ設定可能です

**Media Composerのmarkerを使用する場合は書き込まないでください**

**Program Name** : alphanumeric

**Scene No and Take Noを使用する場合は必須です**

**Scene No.** : numeric ,0 to 2147483647

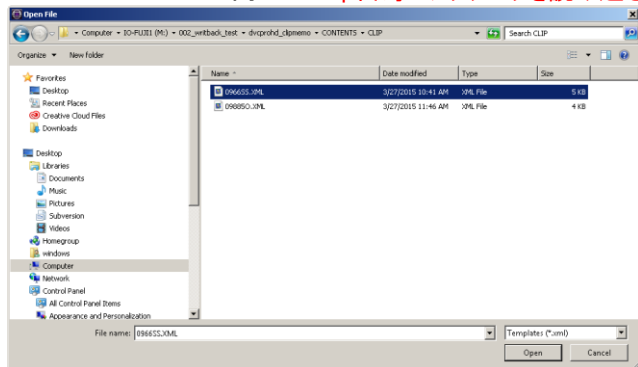
**Take No.** : numeric , 0 to 2147483647

**Reporter** : alphanumeric , max 30 char

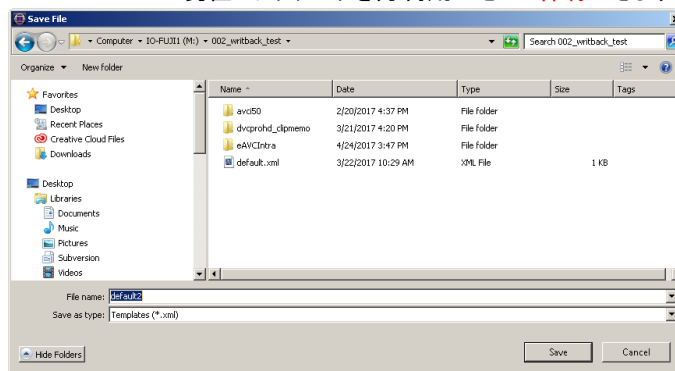
**Purpose** : alphanumeric, max 100 char

**Object** : alphanumeric, max 100 char

**Load From XML** : 以前に保存したメタデータを読み込むことや  
CONTENTS¥CLIP 内のP2 clip自身のメタデータを読み込むことができます(xml)

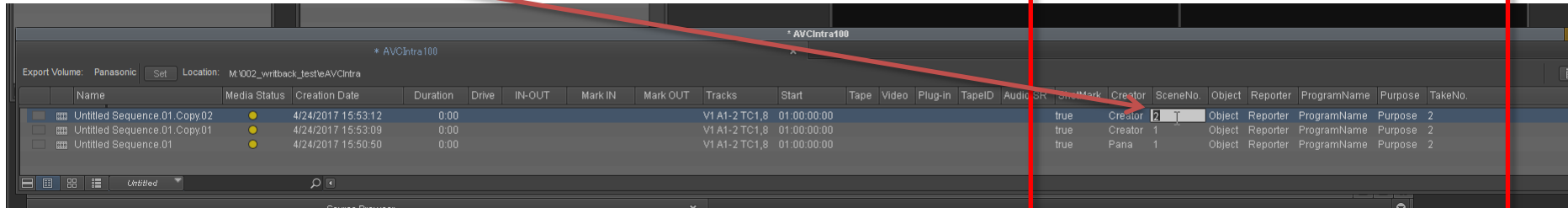


**Save to XML** : 現在のメタデータを再利用のために保存できます



# Export Volume内での変更方法

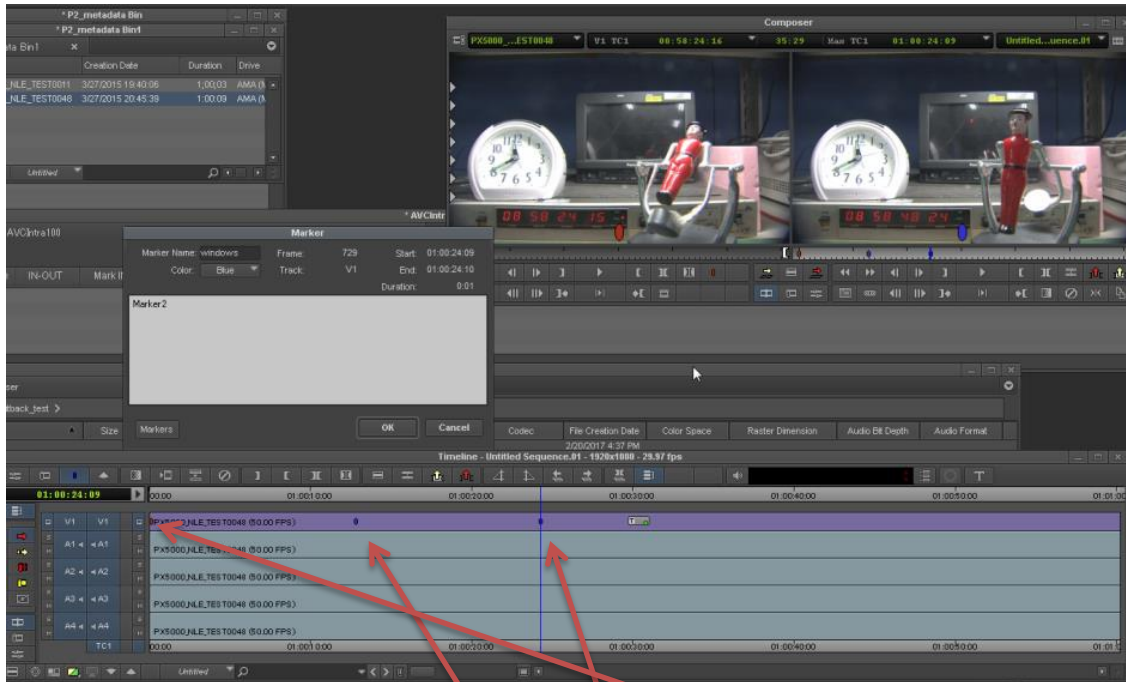
シーケンスをExport VolumeにDrag&Dropした時、まずExport Volume Settingで書かれたメタデータが初期値として書かれます。Export Volume内で変更したいカラムをクリックすることにより、追加、変更可能です。



Name	Media Status	Creation Date	Duration	Drive	IN-OUT	Mark IN	Mark OUT	Tracks	Start	Tape	Video	Plug-in	TapeID	Audio SR	SceneMark	Creator	SceneNo.	Object	Reporter	ProgramName	Purpose	TakeNo.
Untitled Sequence.01.Copy02	●	4/24/2017 15:53:12	0:00					V1 A1-2 TC1,8	01:00:00:00						true	Creator	2	Object	Reporter	ProgramName	Purpose	2
Untitled Sequence.01.Copy01	●	4/24/2017 15:53:09	0:00					V1 A1-2 TC1,8	01:00:00:00						true	Creator	1	Object	Reporter	ProgramName	Purpose	2
Untitled Sequence.01	●	4/24/2017 15:50:50	0:00					V1 A1-2 TC1,8	01:00:00:00						true	Pana	1	Object	Reporter	ProgramName	Purpose	2

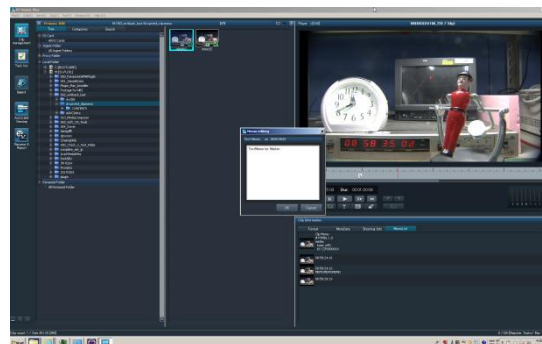
# Media Composer上のMarker書き出し方法

シーケンスにMarkerを追加し、そのシーケンスを書き出すことだけでそのMakerがメタデータに追加されます。



1.オリジナルMaker : クリップが持っているMakerです。これを引き継ぐことができます。あらかじめ、P2 機器やP2 viewer + 等で追加しておくことも可能です。

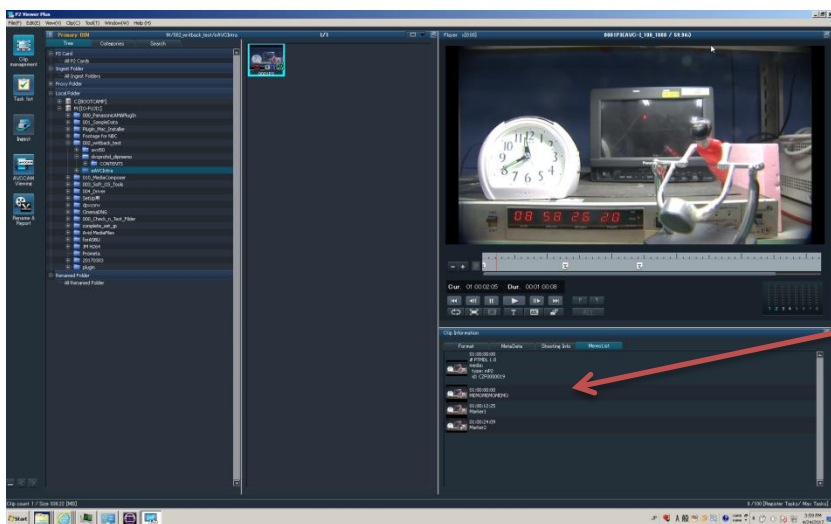
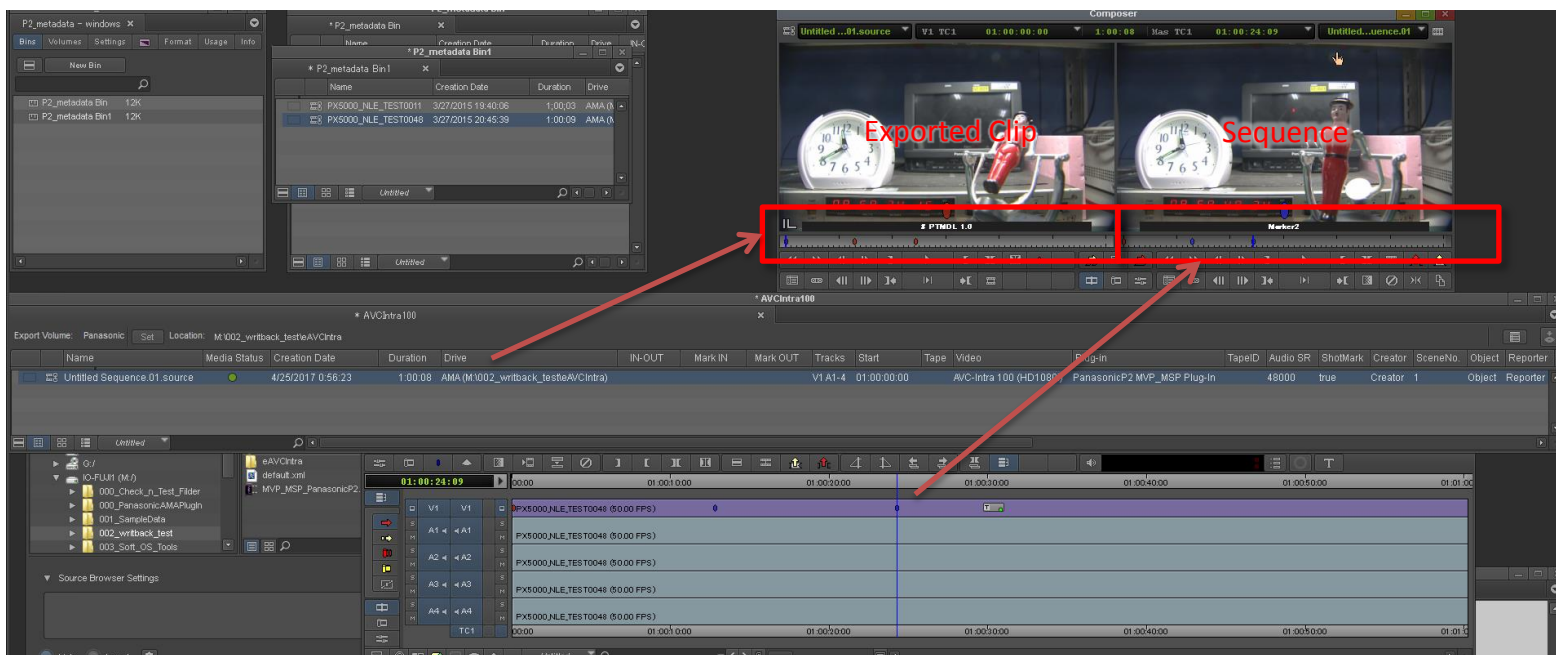
2種類のMakerがあります。



2.新規Maker : Media Composer 上でつけるMakerです。  
Notice : Markerの追加は必ずVideo trackにしてください

# Media Composer上のMarker書き出し方法(書き出し結果)

Export Volume内の書き出されたクリップをロードすることにより確認可能です。



P2機器や対応機器にて確認することもできます  
何もない場合でも当社無料ビューワで確認可能です  
( P2 viewer + Windows/Mac Free)

MakerはTextMemoとして書き出されます。